

次期医療計画における基準病床数

一般病床及び療養病床

二次保健医療圏	基準病床数	基準病床数(現行計画)	増 減	既存病床数(H29.12.1現在)
津軽地域保健医療圏	3, 236 (+36)	3, 025	211	3, 622
八戸地域保健医療圏	2, 992 (+28)	3, 164	▲172	3, 129
青森地域保健医療圏	3, 062 (+8)	3, 042	20	3, 186
西北五地域保健医療圏	931	755	176	1, 191
上十三地域保健医療圏	1, 259 (▲1)	939	320	1, 201
下北地域保健医療圏	600	395	205	563
合 計	12, 080 (+71)	11, 320	760	12, 892

(): H29.9第2回医療計画部会で公表した試算数からの増減

病床区分	基準病床数	基準病床数(現行計画)	増 減	既存病床数(H29.12.1現在)
精神病床	3, 472	3, 870	▲398	4, 453
結核病床	33	60	▲27	60
感染症病床	30	32	▲2	29

基準病床数算定式
(療養病床)

性別・年齢階級別人口

×

性別・年齢階級別療養病床入院受療率

−

在宅医療等対応可能数

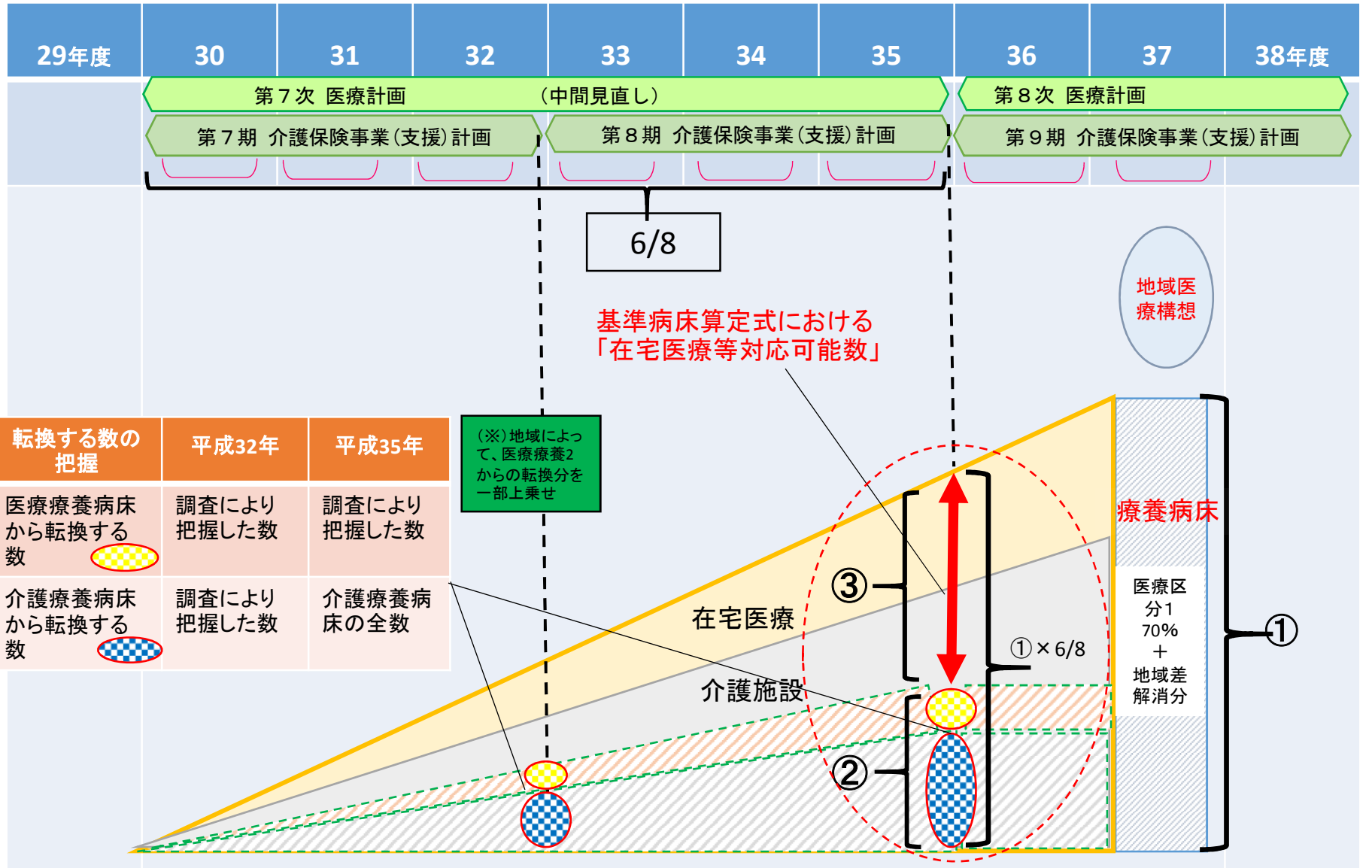
+

流入入院患者数

−

流出入院患者数

病床利用率



※「在宅医療等対応可能数」は、国の指針における「介護施設、在宅医療等で対応可能な数」の略語

在宅医療等対応可能数^(※1)の算定

【第2回医療計画部会において提示した試算からの変更点】

下表(3)の値について、第2回医療計画部会における試算時には、介護療養病床の転換分(介護療養病床全床)のみを見込んでいたが、今回、新たに圏域ごとに、医療療養病床の転換分をア及びイのとおり見込んだことにより、介護施設への転換見込数が増え、「在宅医療等対応可能数」が減少した。(※西北五地域は、これとは別に介護療養病床数の精査により数変動)

ア 転換見込み調査において、医療療養病床から介護施設へ「転換見込みあり」と回答のあった全数。

イ 介護療養病床全数に医療療養病床からの転換見込数(ア)を加えても**下表(1)**の値の半数に満たない場合は、調査結果のうち医療療養病床(25:1)の病床で「転換先不明」と回答のあった数の半数。

	(1) 平成37年度に療養病床の入院患者から 生じる在宅医療等の医療需要 ^(※2) (前ページ①)	(2) 年度間の按分 (8年中6年目の値)	(3) 各地域における介護施設 への転換見込数 (前ページ②)	(1)×(2)－(3) 在宅医療等対応可能数 (前ページ③)	
津軽	101.91	6/8	86 (44)	0 (32)	(※3)
八戸	328.10	6/8	127 (102)	119 (144)	
青森	241.65	6/8	70 (63)	111 (118)	
西北五	370.84	6/8	331 (387)	0 (0)	(※3)
上十三	28.99	6/8	0 (0)	22 (21)	(※4)
下北	56.58	6/8	40 (40)	2 (2)	
合計	1,128.07				

算定に用いる値

():H29.9第2回医療計画部会で用いた値

※1 「在宅医療等対応可能数」は、国の指針における「介護施設、在宅医療等に対応可能な数」の略語

※2 H29.8.10付け事務連絡で厚生労働省から示された市町村ごとの数字を二次医療圏に積み上げた数字

※3 計算値がマイナスとなるため、0に補正

※4 端数処理上の補正

基準病床算定(療養病床分)

圏域	人口×受療率の総和	在宅医療等 で対応可能な数	流入	流出	病床利用率	算出数
津軽地域	839	0	67	8	0.90	998(+36)
八戸地域	849	119	46	18	0.90	842(+28)
青森地域	821	111	39	30	0.90	799(+8)
西北五地域	446	0	9	30	0.90	472(0)
上十三地域	497	22	9	81	0.90	448(▲1)
下北地域	208	2	1	4	0.90	226(0)
計			171	171		3,785(+71)

次期医療計画における
基準病床数(療養病床
分)

():H29.9第2回医療計画部会で公表した試算数からの増減

(参考)

$$\begin{array}{c}
 \text{基準病床数} \\
 \text{算定式} \\
 \text{(療養病床)}
 \end{array}
 = \frac{
 \begin{array}{c}
 \text{(人口×受療率の総和)} \\
 \left[\begin{array}{c} \text{性別・年齢} \\ \text{階級別人口} \end{array} \right] \times \left[\begin{array}{c} \text{性別・年齢階級別} \\ \text{療養病床入院受療率} \end{array} \right] - \left[\begin{array}{c} \text{在宅医療等} \\ \text{対応可能な数} \end{array} \right] + \left[\begin{array}{c} \text{流入} \\ \text{入院患者数} \end{array} \right] - \left[\begin{array}{c} \text{流出} \\ \text{入院患者数} \end{array} \right]
 \end{array}
 }{
 \left[\begin{array}{c} \text{病床利用率} \end{array} \right]
 }$$

療養病床・一般病床の基準病床数計算結果

圏域	療養病床分			一般病床分			現行計画 (25年度) 基準病床数 (①+③) B	次期計画 (30年度) 基準病床数 (②+④) A	基準病床数 増減 (A-B)
	現行計画 (25年度) 算出数 ①	次期計画 (30年度) 算出数 ②	増減 ②-①	現行計画 (25年度) 算出数 ③	次期計画 (30年度) 算出数 ④	増減 ④-③			
津軽地域	549	998	449	2,476	2,238	△ 238	3,025	3,236	211
八戸地域	807	842	35	2,357	2,150	△ 207	3,164	2,992	△ 172
青森地域	625	799	174	2,417	2,263	△ 154	3,042	3,062	20
西北五地域	254	472	218	501	459	△ 42	755	931	176
上十三地域	120	448	328	819	811	△ 8	939	1,259	320
下北地域	0	226	226	395	374	△ 21	395	600	205
計	2,355	3,785	1,430	8,965	8,295	△ 670	11,320	12,080	760

(参考) 新基準病床数と既存病床数との対比

圏域	次期計画 基準病床数 A	既存病床数 (H29.12.1 現在) C	C-A
津軽地域	3,236	3,622	386
八戸地域	2,992	3,129	137
青森地域	3,062	3,186	124
西北五地域	931	1,191	260
上十三地域	1,259	1,201	△ 58
下北地域	600	563	△ 37
計	12,080	12,892	812

青森県の基準病床数の増減に関する考察

- ◆ 療養病床について
→地域医療構想により入院医療から在宅医療等への患者の移行を進めるものの、高齢化等の影響により増加する患者が多いことから、基準病床数が増加している。
- ◆ 一般病床について
→平均在院日数の短縮(17日→15.3日)及び人口の大幅な減少(H22→H27: ▲65,074人)により、基準病床数が減少している。
- ◆ C-Aがプラスの場合 : 新規開設や増設不可
C-Aがマイナスの場合 : 新規開設や増設可